

【歌唱】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
高等学校	音楽Ⅰ	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>自己のイメージをもって</b> 歌唱表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅱ	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>個性豊かに</b> 歌唱表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅲ	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を <b>総合的に働かせながら</b> 、個性豊かに歌唱表現を創意工夫すること。

イ「知識」				ウ「技能」		
曲想／音楽の構造・歌詞	音色、言葉／曲種	様々な表現形態	生活や社会との関わり	発声、身体の使い方	他者との調和	表現形態の特徴
イ 次の(ｱ)から(ｴ)までについて理解すること。				ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ｱ)から(ｴ)までの技能を身に付けること。□		
(ｱ) 曲想と音楽の構造や歌詞、 <b>文化的・歴史的背景</b> との関わり	(ｲ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり	(ｴ) 様々な表現形態による歌唱表現の特徴		(ｱ) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能	(ｲ) 他者との調和を意識して歌う技能	(ｴ) 表現形態の特徴を生かして歌う技能
イ 次の(ｱ)から(ｴ)までについて理解すること。				ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ｱ)から(ｴ)までの技能を身に付けること。		
(ｱ) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及び <b>その関わりによって生み出される表現上の効果</b>	(ｲ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及び <b>その関わりによって生み出される表現上の効果</b>	(ｴ) 様々な表現形態による歌唱表現の <b>固有性や多様性</b>		(ｱ) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能	(ｲ) 他者との調和を意識して歌う技能	(ｴ) 表現形態の特徴や <b>表現上の効果</b> を生かして歌う技能
イ 次の(ｱ)及び(ｲ)について理解すること。				ウ 創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けること。		
(ｱ) 曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性			(ｲ) 歌や歌うことと生活や社会との関わり			

【器楽】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
高等学校	音楽Ⅰ	ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>自己のイメージをもって</b> 器楽表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅱ	ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>個性豊かに</b> 器楽表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅲ	ア 器楽表現に関わる知識や技能を <b>総合的に働かせながら</b> 、個性豊かに器楽表現を創意工夫すること。

イ「知識」				ウ「技能」		
曲想／音楽の構造	楽器の音色／奏法	様々な表現形態	生活や社会との関わり	奏法、身体の使い方	他者との調和	表現形態の特徴
イ 次の(ｱ)から(ｴ)までについて理解すること。				ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ｱ)から(ｴ)までの技能を身に付けること。		
(ｱ) 曲想と音楽の構造や <b>文化的・歴史的背景</b> との関わり	(ｲ) <b>曲想</b> と楽器の音色や奏法との関わり	(ｴ) 様々な表現形態による器楽表現の特徴		(ｱ) <b>曲にふさわしい奏法</b> ，身体の使用などの技能	(ｲ) 他者との調和を意識して演奏する技能	(ｴ) 表現形態の特徴を生かして演奏する技能
イ 次の(ｱ)から(ｴ)までについて理解すること。				ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ｱ)から(ｴ)までの技能を身に付けること。		
(ｱ) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び <b>その関わりによって生み出される表現上の効果</b>	(ｲ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及び <b>その関わりによって生み出される表現上の効果</b>	(ｴ) 様々な表現形態による器楽表現の <b>固有性や多様性</b>		(ｱ) 曲にふさわしい奏法，身体の使用などの技能	(ｲ) 他者との調和を意識して演奏する技能	(ｴ) 表現形態の特徴や <b>表現上の効果</b> を生かして演奏する技能
イ 次の(ｱ)及び(ｲ)について理解すること。				ウ 創意工夫や表現上の効果を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付けること。		
(ｱ) 曲の表現内容や様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性			(ｲ) 曲や演奏することと生活や社会との関わり			

【創作】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
高等学校	音楽Ⅰ	ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>自己のイメージをもって</b> 創作表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅱ	ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>個性豊かに</b> 創作表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅲ	ア 創作表現に関わる知識や技能を <b>総合的に働かせながら</b> 、個性豊かに創作表現を創意工夫すること。

イ「知識」
イ 音楽材，音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解すること。
イ 音楽材，音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解を深めること。
イ <b>様々な音楽材や様式，表現形態</b> などの特徴について，表したいイメージと関わらせて理解すること。

ウ「技能」		
音楽の仕組み	副次的旋律・和音	変奏・編曲
ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(ｱ)から(ｴ)までの技能を身に付けること。		
(ｱ) 反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能	(ｲ) 旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能	(ｴ) 音楽を形づくっている要素の動きを変化させ，変奏や編曲をする技能
ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(ｱ)から(ｴ)までの技能を身に付けること。		
(ｱ) 反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能	(ｲ) 旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能	(ｴ) 音楽を形づくっている要素の動きを変化させ，変奏や編曲をする技能
ウ 創意工夫や <b>表現上の効果</b> を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けること。		

【鑑賞】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」			イ「知識」		
		評価とその根拠	音楽の意味や役割	共通性や固有性	曲想／音楽の構造	背景、他の芸術との関わり	伝統音楽・諸民族の音楽
高等学校	音楽Ⅰ	ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ｱ)から(ｴ)までについて考え、音楽のよさや美しさを <b>自ら</b> 味わって聴くこと。 (ｱ) 曲や演奏に対する評価とその根拠	(ｲ) <b>自分や社会にとっての音楽</b> の意味や価値	(ｴ) 音楽表現の共通性や固有性	(ｱ) <b>曲想や表現上の効果</b> と音楽の構造との関わり	(ｲ) <b>音楽の特徴</b> と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり	(ｴ) 我が国や郷土の <b>伝統音楽</b> の種類とそれぞれの特徴
	音楽Ⅱ	ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ｱ)から(ｴ)までについて考え、音楽のよさや美しさを <b>深く</b> 味わって聴くこと。 (ｱ) 曲や演奏に対する評価とその根拠	(ｲ) <b>自分や社会にとっての音楽</b> の意味や価値	(ｴ) 音楽表現の共通性や固有性	イ 次の(ｱ)から(ｴ)までについて理解を <b>深める</b> こと。 (ｱ) <b>曲想や表現上の効果</b> と音楽の構造との関わり	(ｲ) <b>音楽の特徴</b> と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり	(ｴ) 我が国や郷土の <b>伝統音楽</b> の種類とそれぞれの特徴
	音楽Ⅲ	ア 鑑賞に関わる知識を <b>総合的に働かせながら</b> 、次の(ｱ)から(ｴ)までについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くこと。 (ｱ) 曲や演奏に対する評価とその根拠	(ｲ) <b>文化や芸術としての音楽</b> の意味や価値	(ｴ) 音楽表現の共通性や固有性	イ 次の(ｱ)から(ｲ)までについて理解すること。 (ｱ) <b>音楽の美しさ</b> と音楽の構造との関わり	(ｲ) <b>芸術としての音楽</b> と文化的・歴史的背景、他の芸術や <b>文化</b> との関わり	(ｴ) <b>現代</b> の我が国及び諸外国の音楽の特徴

＜共通事項＞

ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」
「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。	イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における動きと関わらせて理解すること。